

インプラントをMTMのアンカーとして使用した1症例

A case of dental implant use for anchor of minor tooth movement

医療法人社団 徳治会 長野歯科医院 八田知之

Key words

1 : *MTM(Minor tooth movement)*

2 : *Implant*

3 : *Anchor*

歯牙欠損を放置することにより、隣在歯の傾斜や対合歯の挺出が惹起され、歯冠修復処置が複雑化してしまうことは、往々にして経験するところである。それに対しMTM (*Minor tooth movement*)にて対応することが多いが、歯牙移動の際にアンカーロスしてしまう可能性もある。今回欠損放置により傾斜した歯牙を、インプラントを用いてMTMを行い、歯冠修復を行った症例を提示します。

症例概要

患者は52歳女性、左下の奥歯が痛いとのことで2013.12.25当院を受診。左下智歯は保存不可能なため抜歯を行った。両側上顎第一大臼歯及び右側下顎第一大臼歯の欠損を認めた。また右側上顎第二大臼歯の近心傾斜を認めた。両側顎関節及び周囲筋に疼痛・開口制限等の異常所見は認めず、CRとCOは、ほぼ一致していると診断した。

治療計画として、欠損部に対してはインプラントを用いた歯冠修復及び近心傾斜した歯牙のMTMを行うこととした。

診断用ワックスアップからインプラント埋入用ステントを作成し、2014.3.12及び5.17にインプラントを埋入（上顎洞底挙上術併用）後に *Provisional restoration* 及びインプラントをアンカーにしてMTMを行った。

インプラント埋入、MTMの手技やタイミング等、御指導御鞭撻の程宜しくお願い致します。